

# Newsletter

Vol.594 2025.11.10

From this week's "Concierge"

株式会社持丸食品  
東京都大田区仲池上 2-27-3  
TEL:03-3755-3101  
FAX:03-3755-3105

※お見積りは、弊社担当者へ  
直接お問い合わせください。

あしらいに見る和の美

## ユキノシタ（徳島 福島）

日本では昔から天麩羅、和え物や酢のもの、炒め物汁の実、おひたしにと、サッと火を通して、様々なに使われている野草です。味に癖がなく、それはまるで山菜にも似た雰囲気を感じる食材で、日本料理で薄く衣をつけて揚げられた美しい姿でも知られております。写真的上勝（徳島県）から届くものは小さな可愛らしい「ユキノシタ」です。

## 黄銀杏葉（徳島 福島）

寒い季節の到来を告げる象徴の様な黄色が眩しい銀杏の葉。夏の喧騒から秋・冬の落ち着いた季節を演出するにも一役買ってくれそうです。末広がりな形から「縁起が良い」とか、銀杏の木は非常に生命力が強いことから長寿・健康、無病息災という意味にも使われます。



## ひいらぎ（徳島 福島）

クリスマスや、日本では節分に飾る風習がある「ひいらぎ」。西洋では真冬にも緑が青々としているので、「神が宿る木」ともいわれています。日本では棘が付いていることから、厄除けや縁起ものとしての役割もあり、魔を祓い、場を淨めるなどの意味もちます。



## 赤柿葉（徳島 福島）

季節限定の面白い素材。和食では葉が青から赤く染まる秋の移ろいを表現するのにも、この赤柿葉が使われることがあります。敷き葉にして突き出しを載せたり、和のアフタヌーンティーに使用しても個性的で、一気に秋の風情を運びます。



## マイクロ葉わさび（徳島）

可憐でハートの形のわさびの葉、緑の葉からほんのり山葵の味が楽しめるということで、あしらいとしても、味のエッセンスとしてもジャンルを問わずお使いいただいております。



## 南天（なんてん）の葉 青・赤・あしらい・飾り

福島 德島 “Nanten”, Nandina, Sacred Bamboo  
南天は中国原産、古くから漢方でも赤い実を南天実（なんてんじつ）といって咳止めの薬として利用されて来たようです。和名の「南天」は漢名「南天燭」から来たといわれています。冬に赤くて丸い実をつけることで赤は厄除けの色ともされ慶事にも使われるようになりました。そして名前からもうかがえるように、「難を転ずる=ナンテン（難転）」ともいわれて縁起の良い木として、家の鬼門に設える魔除けの植物としても重宝がられました。和食の飾りとしてもしばしば登場する「南天の葉」ですが、ただの飾りだけではなく、南天の葉には熱のあるものと一緒にすることで、防腐作用の成分を発生させるという特性があるそうなので、炊きたての赤飯の上にのせられて供されるのも理にかなっているのです。いろいろな意味で「難を転ずる」南天（なんてん）。年末も視野に入ってきた今、縁起担ぎと安全祈願も含みつつ、緑と赤の聖なる南天の葉を今年の感謝と願いを込めて様々ななお料理にあしらってみてはいかがでしょうか。



## 葉っぱき（徳島）

艶々と綺麗なしっかりした葉。和菓子や和食によく使われています。椿は魔除けの力を持つ植物とされており宮中では、椿の枝で作った杖を魔除けにしていたといわれています。長寿や生命の象徴でもあります。

## 五葉松

### （徳島 福島）

五葉松は、その優美な姿と風格から、盆栽などに用いられることも多く、古くから日本で愛されてきた樹木です。常緑でもあり長寿や繁栄の象徴とされ、神社仏閣や庭園でもよく見られます。幸運と繁栄をもたらす縁起の良い五葉松は、お正月のあしらいとしても品格を漂わせます。

